

館報



1月号

やまがた

No. 837

令和8年
(2026年)



働き姿

果樹栽培の発展に尽力

竹岡 純さん(安曇野市)

JA資材課に所属し、営農相談員を経て、指導員となりました。りんごをはじめ、桃、葡萄の指導に携わっています。

「近時の厳しい気象条件の中でも、良い品質の作物が栽培できるよう日々心掛けながら指導しています」と話していました。

農業を取り巻く厳しい環境の中、JA松本ハイランド・山形村の果樹振興に努めています。

(12月23日 山形村圃場にて)

告知板

公民館講座のお知らせ

2月も魅力的な公民館講座がいっぱい！
気軽にご参加ください。

募集中の講座

シルバー向け防災講座

〈内容〉防災食の実食など体験型の防災講座です。

〈日時〉2月10日(火)10:00～12:00頃

〈場所〉トレセン「大ホール」

〈参加費〉無料 〈申込み〉必要

バレンタインスイーツづくり

〈内容〉バレンタイン向けの甘いスイーツをつくろう。

〈日時〉2月11日(水・祝)13:00～16:00

〈場所〉トレセン「調理室」「食堂」

〈参加費〉1,000円/組

〈申込み〉必要(定員:6組程度)

劇場映画「蜂の子」から学ぶ

〈内容〉65年前に山田洋次監督が脚本した児童劇映画を見て、当時を学びます。

〈日時〉2月12日(木)13:30～15:30

※上映時間は50分程度です。

〈場所〉トレセン「大ホール」

〈参加費〉無料 〈申込み〉不要(当日参加可)

各講座の詳細は
ホームページを
ご覧ください。



【お問い合わせ・お申し込み】

山形村教育委員会 ☎0263-98-3155

山形村功労者表彰

1月6日(火)、山形村功労者表彰式が
ミラ・フード館ホール ミラにて行われました。
今年度の受章者は次のとおりです。



彌磨太鼓 増澤靖揮さん(上竹田)「地域づくり表彰」

結成以来14年にわたり、村内イベントや、社会福祉協議会での演奏、小学校への出張指導など、太鼓を通じて幅広く地域活動に貢献されました。これらの取り組みは、地域の活性化に大きく寄与しております。



山口隆也さん(小坂)「教育文化功労」

教育長として1期4年にわたり、本村の教育・文化行政の充実と発展に大きく寄与されました。また、消防や社会福祉などの分野で安心して暮らせる環境づくりに多大な功績を残されました。



本庄利昭さん(上大池)「特別表彰」

2期8年、村長として令和の新時代における住民福祉の向上と地域振興に多大な功績を残されました。コロナ禍という困難な時代も、住民に寄り添い、粘り強い調整と的確な判断で村政を導き、本村の発展に貢献されました。

山形村消防団 年末特別警戒出陣式

12月25日(木)から29日(月)までの5日間、山形村消防団による年末特別警戒が行われました。初日25日(木)の夜、ミラ・フード館で出陣式が行われ、村長らによる激励ののち、各地区の分団は次々と夜間巡回に出発しました。

また同日、分団長会が行われ、本年1月1日(木)より施行された林野火災注意報についての留意事項が確認されました。林野火災注意報は松本広域消防局から発令される、乾燥時に火入れや焚火をしないよう呼びかける条例です。今回の三九郎にも直接影響して

山形村消防団長の中川英樹さん(小坂)は「年末特有の気ぜわしさからくる不注意による火災が多いという統計が出ています。一人ひとりが火の元に十分留意していただきたいと思います」と話

た。



勢ぞろいした消防車

山すけ

最近、電子書籍にはまっています▼今しがた私がコンビニで購入した漫画の最新刊を見た友人が、まさに漫画のように目を見開いて言いました。「未だに買っているのか」と。私も目を見開いて言いました。「えっ?」と▼友人曰く、電子書籍なら買いに行くこと・置き場所が不要になる。スマホがあれば読む場所・時間を選ばない。読まなくなった本を売ったり捨てたりする必要もない。売るときに少しでも高くするために費やした日焼けを防ぐ保管体制。さらに良く言われた、好きな漫画を読み直していると「またそれ読んでいるの?」と呆れ顔で言われること。なるほど、電子化すれば私が今まで抱えていた問題が解決するのか。しかも、本の値段は私の青春時代より大分値上がりしてきたが、電子書籍だと時期によつては通常より安く買えるのだ。流行りのコスパにも合致している。電子書籍の素晴らしいさに気づいたこの気持ち、是非同志たちに「目を見開いて」伝えたい。

しあわせ市民館

多世代交流

12月25日(木)、トレーニングセンターで多世代交流講座が開催されました。

「おやき作り」

午前中は、20名が参加して、農村マイスター5名の方を講師に、おやきと豚汁を作りました。

おやきには山形村産長芋、ウインナー、あんこ、チョコレート等を使用しました。組み合わせは自由で、オリジナルのおやき作りを楽しみました。特にチョコレートが子ども達には人気でした。豚汁の具材切りでは、子ども達は講師の指導を受けて手際よく包丁を使っていました。

実食の際は参加者全員に笑顔が溢れて、交流を深めていました。

6年生の二條源太さん(上竹田)は、「おやきは普段家



では作ることがないので、昨年も参加した。今年も美味しいおやきを味わうことができてよかった」と話していました。

「体育館で遊ぼう」

午後はニュースポーツ等を行う運動教室が開催されました。朝日村在住のバルシューレ指導者である有賀光子さんがボール遊びを、役場職員がボッチャの講師を務めました。

ボール遊びは様々な大きさのボールを使用し、4種類のプログラムを行い、しつぽ取りゲームも行いました。ボッチャは、1球1球作戦を立てながら丁寧に投げていました。

6年生の西牧湊さん(小坂)は、「ボッチャをテレビでは見たことがあったけど実際にするのは初めて。ボールを投げる加減が難しかったけど、楽しくできた」と話してくれました。

※バルシューレ…遊びを通して運動基礎能力を身につけることを目的とした。ドイツ発祥のボール運動プログラム。



おやじ塾 木曽路酒蔵巡り

12月18日(木)、おやじ塾で木曽路へ酒蔵巡りに行きました。

最初の西尾酒造(大桑村須原)は、蔵元での販売がないため、製品を扱っている道の駅・大桑で店頭販売の様子を見学し、土産用の清酒の品定めをしました。

続いて木曽路を北上し、中善酒造(木曽町福島)のショップで、店員から清酒の違いの説明を受けながら、参加者はそれぞれ好みの清酒を購入しました。清酒だけでなく、家族のために甘酒や酒粕を購入したメンバーもいました。

次は塩尻市奈良井の杉の森酒造へ向かいました。この酒蔵は、以前あった老舗酒造所の後を、若手の杜氏が再興し、モダンな清酒を醸造しています。運

よく今回唯一試飲が可能だったので、早速新酒の味と香りを楽しみました。



あかりのさんぽ道

12月20日(土)、ミラ・フード館前の広場であかりのさんぽ道が開催されました。初開催ということもあり、ウインドアンサンブルの演奏と日用市の露店もあり沢山の人が見学に来ていました。

参加者募集

このようにおやじ塾では、小旅行をしたり料理教室を行ったり、時にはボランティアで草刈りを行ったりもしています。次回1月31日(土)は、公民館講座「郷土酒を知ろう」とコラボし、午後3時からトレセンでワイン向けのおつまみづくりに挑戦します。おおむね60歳以上の男性の皆さん、一緒に活動してみませんか? 1回のみの参加やお試し参加でも構いません。興味のある方は、山形村公民館までお問い合わせください。

【今後の予定】

1月31日(土)

「ワインに合うおつまみ作り」

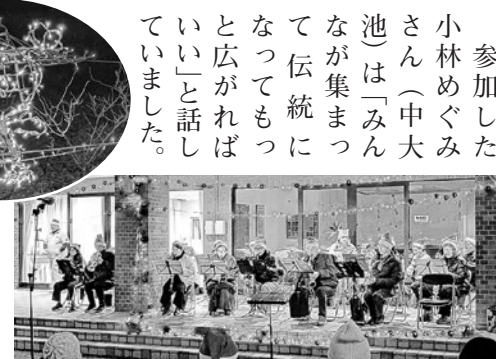
2月10日(火)

「シルバー向け防災講座」

3月27日(金)

「マージャン講座」

参加した小林めぐみさん(中大池)は「みんなが集まって伝統になってもっと広がればいい」と話していました。



戦後80年企画「戦争の記憶・戦後の記憶」



古川 敏夫さん
(上竹田)

胡瓜、茄子、トマトのF1採種、ポートレンチャーを用いた掘抜による長芋栽培法の確立・普及に努め、村の農業近代化の扉を開いた第一人者。1930(昭和5)年10月生まれ。現在95歳。1937(昭和12)年4月山形尋常小学校入学、昭和20年4月旧制東筑摩農学校(現在の塩尻志学館高校)入学、昭和23年4月盛岡農林専門学校農村工業実科入学、翌年3月盛岡農専修了後、4月より自宅にて就農。山形村議2期、黒川堰土地改良区理事長を歴任。

11月号に続き、戦争を体験された村民の方にご協力いただき、当時のお話をうかがいました。今号では、昭和12年7月の盧溝橋事件に始まる、当時「支那事変」と呼んだ日中戦争に従軍、負傷帰還された叔父さんのお話を中心に、出征兵士を見送る壮行会のこと、戦後の山形村の農業について、野菜の貴族と呼ばれた長芋の栽培方法の確立についてお話をうかがいました。

聞き書き、文書編集…館報編集部 清原

戦争の子

日中戦争開始年に小学校に入学、戦争の終わる昭和20(1945)年4月農学校(長野県東筑摩農学校、以下東農と略記)入学でしたから、自分は戦争の子だと思います。

日中戦争に従軍した四郎叔父は、徴兵検査で甲種合格、陸軍歩兵第50連隊(通称・松本50連隊)に入営して、3月2年間の訓練を終えたばかりでした。7月7日の支那事

変後の最初の招集で入隊出征し、揚子江を渡河しての上陸作戦に従軍。戦闘中被弾し治療後前線に復帰して、再び左肺に被弾・摘出、除隊帰還となります。被弾4発すべてが貫通、身体に8箇所の傷跡がありました。負傷のたびに、在郷軍人会、青年会、婦人会、近所の人たちが神社へ治愈祈願のお百度参りをしてくれました。また、出征後の8月末、私の祖父が亡くなりましたが知らせませんでした。2度目の負傷で野戦病院に入っ

た時、祖父の死を知る上大池出身の衛生兵さんから悔やみを言われ、父の死を知った叔父から手紙が届き葬儀が行われました。

出征兵士壮行会

小学校2年になるころ召集兵士の壮行会が頻繁に行われ、週2〜3回ありました。

学校の朝礼で全校児童の前に出征兵士が並び、鼓笛隊が演奏して小学校前の忠魂碑前から行進する兵士を見送りしました。私も高学年になると鼓笛隊に属しコレットで「出征兵士を送る歌」などを演奏しました。「刀わが大君に召されたる生命(いのち)栄光(はえ)ある朝ぼらけ：いざ征けつわもの 日本男児」今でも口ずさめますね。

大本営陸海軍部発表

昭和16年12月8日午前6時、囲炉裏ばたで父と叔父が大東亜戦争開始を告げるラジオ放送を聞いて「アメリカとの戦争とは、えらいことになった」と二人で話しているのを聞いて、勝ち負けとか関

係なく、大国との戦争突入が「おっかなかった」です。

学校生活

昭和20年4月東農に入学して、下竹田の二人と3人で自転車で神林を抜け、村井駅から汽車で塩尻まで通いました。往きは良いのですが、復りは満員で3月10日の東京大空襲の被災者が溢れるように乗り込み荷棚にまで人が乗っていました。着衣はボロボロ、顔は黒く煤けて疲れ果てた人々の表情は、今でも忘れられません。

戦争中は援農と教練、事あらば往復ビンタする配属将校と一つ上の先輩たちへの恐怖、戦後はかつては品行方正で成績も良かったはずの予科練帰りの荒んだ生徒のいたことが記憶に残っています。ある時、全校集会で「生徒会を作って上級生が下級生を殴ることを止めないといけない」と提案したら、会場から2年生に追いかけられ級友等に守ってもらったこともありませんでした。

終戦の年

国破れて山河有りとは申しませんが、その年は、朝日波田との境の山(はと峯)の笹が一斉に開花結実して枯れ、秋には竹田上大池を水害が襲います。当時の竹田建部神社の祭礼は、10月5・6日でしたが、3日からの降雨が続き唐沢川が氾濫して、溢れた水で上竹田原村の道は2m近く削られ、濁流が床下を流れました。上大池では堂ヶ沢が氾濫、出動した兵隊から帰還されたばかりの消防団員2名が亡くなりました。戦時中に山の本を刈り尽くし裸山になったのが水害の最大の原因だったそう、戦後の村の植林事業へとつながります。

報道統制と威嚇飛行

8月の広島長崎の原子爆弾投下については報道されず、「恐ろしい爆弾が落ちた」くらいは風の便りに知ってましたが、正確な情報は9月になって知りました。飛行機の飛来が10日ほど続き、唐沢の谷に入って行ってバリバリ

昨年は第二次世界大戦終戦(1945年)から80年目にあたります。館報やまがたでも特集を組むこととしました。戦争当時すでに物心がついていた方は、現在85歳を上回るでしょう。触れたくない、触れられたくない記憶がもしもありません。取材にご協力いただけた方がたに、心から感謝申し上げます。

リと音がして、機銃照射していたのかどうか不明ですが、繰り返し屋根にあたるくらいに降下して威嚇され怖かったです。

農業近代化

農産物を加工して付加価値を付けることに興味がありましたので、東農を卒業して修業年限1年の盛岡農林専門学校農村工業実科に進学して修了後自宅にて就農しました。当時の農業は、堆肥をカマスに入れて背負って運び込む人力頼りでした。農地の形を整え整地して、大型機械が入りやすい道路に面するようにしないといけない、それと並行して、現金収入を確保できる特産物を作り出すことに傾注しました。

長芋の栽培法

殊に長芋は野菜の中の貴族と呼ばれ、市場でも他の野菜とは異なり置き場所も別扱いです。正月の朝にとろろ汁を食べる風習から、年末に需要がありましたので、毎夕野菜カゴに60kgを入れ、自転車で往復2時間かけて渚にあった青物市場に運びました。長芋栽培には、石のない火山灰土を幅12cm、深さ110cmに掘抜く必要があります、人力で芋掘り道具でやつても1日15

m掘り進むのが限界です。トレンチャー（水道工事の溝掘り機械）を転用してゴボウ掘りに用いていることを知り、メーカーに長芋の掘り抜き用に改良試作してもらい、ポートレンチャーが完成したのは昭和37年。生産者を増やし山形村の特産品へと成長しました。昭和30年〜40年にかけて、原村種長芋は20kg入り木箱5万ケースを全国に売りました。

特許の取得

ポートレンチャーの特許を取ることは考えなかったのですかと問うと、ポートレンチャーで特許権が取れたけれどもね、しなかった。百姓が長芋作ればいいと、みんな大勢の人が利用できればと思っただけ。

私も百姓に生まれ「長芋の作り方を発明したこと」で、山形村に一つ産業を残せたのは、私の生きた証しです。私は故郷の山形と農業が本当に好きだったからね。

取材日：令和7（2025）年
11月30日・12月20日

みんなの人権 116

“デフリンピックと手話文化～コーダ・Oさんとの出会いや「聴導犬」のこと

優の風景 67

◇昨年（2025年）11月、日本で初めての開催となった「東京2025デフリンピック」は、世界70以上の国・地域から聴覚障害のあるアスリートを迎え、100周年の節目として大きな注目を集めました。デフリンピックは、

「聞こえる／聞こえない」に関わらず誰もが共に楽しむ共生社会の実現を象徴する場でもあり、手話言語の社会的認知を高める重要な契機となりました。◇大会期間中には国際手話の体験会や、自治体の手話応援メッセージ動画の発信、そして同年6月に施行された「手話施策推進法」に基づいて定められた手話の日（9月23日）関連イベントなどが全国各地で開催され、手話を学び交流する機会が増えたと聞いています。◇このような背景のなか、「silent（サイレント）2022年」や「A Sign of Affection（ゆびやきと恋々）2024年」など、聴覚障害や手話をテーマにしたテレビドラマや漫画原作アニメなどが放映され、聴覚障害者が直面する日常の壁や、コミュニケーションの多様性など、障害理解の入り口として多くの人の共感を誘い、言語・文化としての手話理解を促すきっかけともなりました。◇また、幼児・児童から大人まで幅広い層に手話とその文化を届ける手話絵本も注目されており、「しゅわしゅわ村シリーズ」（くせさなえ作・画）など手話の基本表現・指文字をやさしく学べるシリーズが出版され、村図書館や家庭などでも手軽に手に取れるようになりました。◇ところで、私は、盛り上がるデフリンピックのTV画面や手話ドラマを見ながら、以前に南信地方で出会った女子高生Oさんのことを思い起こしていました。Oさんは、両親とも聾者の元に生まれたコーダ（Children of Deaf Adults）。家庭での会話は手話。学校や友達との会話は音声言語と、両方を行き来しながら成長してきました。その彼女が、高校の人権教育全校集会で、身障者とのボランティア体験や自身の日常生活の苦楽を、手話を交えながら表情豊かに語ってくれ、全校生徒の注目を集めたのです。◇デフリンピックを契機とした活動は、単なるスポーツイベントを超えて、お互いにお互いのことを少しばかり心配し合う「優の風景」づくりに連なっているように思います。かつての人権講演会で、有馬もとさん率いる「聴導犬」が、聴覚障害者に電話のベルを知らせ、目覚まし時計の音を知らせるといったデモンストレーションに目を輝かせて見入っていた子どもたちのことも思い出しながら、村の共生社会の今後の有りようを考える機会になりました。

（令和8年1月 M・H・記）



年末年始のフотスナップ



あけましておめでとうございます！
山形村の年末年始の様子を撮影しました。



中大池野際常会 年始の挨拶



下大池下村常会新年会



上竹田餅つき



年末特別警戒



アイシティ初売り



洗車機への列



消防出初式



アイシティ年末の買い物



ツルヤの混雑



帰省先で乗馬体験



出初式の朝図書館前桜倒木



年取り魚



見性寺 二年参り



書初め



おせち料理



三九郎



大池諏訪神社 三年参り



年越しそば



山形村の 午年生まれ人口

令和8年(2026年)1月1日現在
役場住民課調べ 単位:人

生まれ年	年齢	男	女	計
昭和5年(1930年)	96歳	5	11	16
昭和17年(1942年)	84歳	39	40	79
昭和29年(1954年)	72歳	53	55	108
昭和41年(1966年)	60歳	56	44	100
昭和53年(1978年)	48歳	59	63	122
平成2年(1990年)	36歳	41	38	79
平成14年(2002年)	24歳	34	31	65
平成26年(2014年)	12歳	38	35	73
合計		325	317	642

村内における人身事故

件数	19件(9件増)
負傷者	21人(10人増)
死亡者	0人

(松本警察署調べ12月末速報値)



村内における消防出動

火災	7件
救急	312件
救助	4件
その他	36件

(松本広域消防局調べ12月末現在)



人口	8,421人
男	4,144人
女	4,277人
世帯数	3,273世帯


出生数	31人(9人減)
死亡数	102人(11人増)
転入数	270人(24人減)
転出数	240人(36人減)

※カッコ内は昨年同月との比較
(役場住民課調べ12月末現在)

山形村
データあれこれ

山形村防災士会が12月15日(月)に発足しました。防災士とは、『自助』『共助』『協働』を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動の知識・技能とそのため意識を獲得した」と日本防災士機構が認証した人です。会長の田村守康さん(上大池)にお話を伺いました。

「山形村防災士会は、地域の防災・減災力を高めることを目的に、会員の自己研鑽、啓発・体験活動の実践、他団体との連携構築を三本柱として、村内の7名の防災士で設立しました。しかし実は、当防災士会に入会するのに資格は必要ありません。防災・減災に興味のある方なら、どんなにも入れます。防災士資格の有無に関わらず防災意識の高い人が互いに連携すること、が、地域の防災力を高めるからです。私は東日本大震災のボランティアに参



よいしょー!!



もちつき会



12月18日(木)、山形保育園でもちつき会が行われました。最初は園児たちの応援のなか、先生方ともちつきをした後、年長さんが順番に子ども用の杵を使ってもちつきです。出来上がったつきたてお餅

「見学でしたが」「いい匂いをする！」「食べたい！」と笑顔があふれていました。




じょうずにできた!

★お楽しみ会★



雪だるまちゃんにくぎづけ!

園児たちが何日も前から制作したクリスマスマスの飾りに彩られた園内には、一日を通して子どもたちの楽しそうな声があがっていました。



雪だるまちゃんにくぎづけ!

12月19日(金)
お楽しみ会が
によるエプロ
アター、保護
ペットとピア
の演奏があり
マス献立とし
た。午睡後
はクラスごと
へのプレゼン
トも用意され
ていました。



プレゼントは何か？

新聞づくりやミニコミ誌づくりに興味のある方、ぜひお力を貸していただけるとありがたいです。未経験の方でも大歓迎です。一緒に館報やまがたをつくりませんか。

【仕事内容】記事の取材や執筆、月1回の校正企画会議を行っています。会議ではその月の号の最終校正を行い、次号の取材分担と構成を全員で決めます。

【任期】令和8年4月1日～
令和10年3月31日

【報酬】167,700円/年



☆一緒に館報作りましょう!☆

おめでた子・親

風

三村	酒井
美琴 <small>ミコト</small>	蒼 <small>ソウ</small>
卓也	成弥
麻里奈	佐良里
下竹田	上竹田

おくやみ

北 百 野 森 山 中
瀬 瀬 口 井 口 川
日 水 修 實 將 淳
出 利 平 實 司 太
夫 水 平 實 司 郎
・ 77 88 75 87 55 88
歳 歳 歳 歳 歳 歳
・ 下 下 下 下 小 下
大 竹 竹 大 坂 竹
池 田 田 池 坂 田

山形村俳句クラブ

頌春

川柳あららぎ

曼陀羅を画くごと殖 ^ふ ゆる霜の花	大野今朝子
冬の星ギリシャ神話の多かりき	上條忠昭
冬の月我が家守りて澄み渡る	上條治子
重機もて倒す栗の木冬はじめ	荻上憲治
リビングの中にさす日や冬に入る	住吉愛子
初冬の優しき香り卵粥	大澤富久子
カサカサと桜の落ち葉踏みしめる	竹野入恒夫
神田川に重なる鯉や冬隣	竹野入美奈子
朝そうじバケツの中に初氷	横山万里子
短日や鈴音高き子の下校	武居弘
嬉々として銀杏落葉を拾ひし頃	武居香織留
秋耕の中に残れる長 ^い 芋 ^も の畝	鈴木まゆみ
純朴な円空仏や飛驒の冬	古畑房子
食 ^べ 紅 ^に 入れるめでたき年の栗強飯	小平昭江



2026

電話

山形村公民館 ☎ 0263・98・3155

「館報やまがたへの情報提供募集中」
身近な情報・感想をお寄せください
フォーム 下のQRコードを読み取ってください。



屠蘇に酔い幸せ抱いて寝正月	上條光男
お餅つき白から機械今市販	青沼道子
お年玉インフレ分を増やしたよ	上條善清
お年玉貰いすぐさまほいたらね	村井 稔
お年玉お米券より欲しいな	村井敏子
藁の香のしめ縄作り父忍ぶ	旗町貞子
初夢は一父母二夫三ペット	中川功子
蜂屋柿ブリ焼き子頃苦手物	古畑弘子
年おとこ賀状で送る笑い午	中村一博
年が開け争い閉じてウマに賭け	上條民雄

